

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	都市交通施設	コード	01-01-04	作成者	都市整備課長
		氏名	樽家真佐人	役職	都市整備課長
		電話	64-1833		

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民はもとより、観光で備前市を訪れる方々のために安全・安心で快適な都市活動と活力あるまちづくりを促進するため道路、駐車場、歩道などの整備を行っていく。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本四の都市活動は、地形的な条件からほとんどを自動車交通に依存しており、そのネットワークは国道2号を軸に、国道250号及び国道374号、主要地方道などにより骨格が形成されている。都市計画道路の現状は23路線、約60.8kmを計画決定しているものの整備率は、12.1%にとどまっている。安全で快適な都市活動と活力あるまちづくりを促進するためには、国道2号などの骨格路線の整備はもとより、地域内補助幹線道路、駐車場、歩道などの整備が必要。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路は、計画決定後長期間経過しているものは見直しを行う。 市全体の道路網計画、拠点地区の交通計画などの見直しのため「備前市都市交通体系調査」を検討する。 幹線街路のうち国、県管理の道路については国及び県に強力に整備を要望する。 国道2号については、国道2号整備促進期成会の関係市町と連携し整備を強力に要望する。 駐車場については、公営駐車場の設置を検討するほか、民間駐車場も確保できるよう検討する。 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

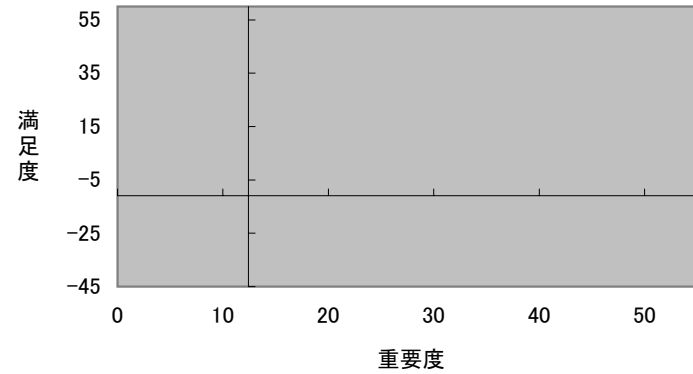
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	合併により、市域が広がり生活道路としての都市交通に対する要望は多い。
---------------------	------------------------------------

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28				
1 都市計画道路整備率	目標	%	13	13	13	13	14	15	50	改良済み延長/計画延長	
	実績	%	12.1	12.1	12.1				県平均値		
	達成率	%	93.1	93.1	93.1						
2 市営駐車場利用割合	目標	%	100	100	100	100	100	100		利用件数/総区画数	
	実績	%	88	86	84						
	達成率	%	88.0	86.0	84.0						
3 まちづくり協議会の開催回数	目標	回	4	4	4	4	4	4		毎年度最低4回の開催	
	実績	回	4	9	6						
	達成率	%	100.0	225.0	150.0						
4	目標										
	実績										
	達成率	%									

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算		
				H17			H18			H19				H20当初(直接事業費)	
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 都市交通施設事業	C	都市交通施設総括事務	内部管理	0			1,117			914			☆☆	\$\$	1,014
		都市計画法53条申請審査事務	法定事務	0			0			0			☆☆	\$\$	
		県街路事業促進協議会負担金	内部管理	6	1,920	0.20	6	4,710	0.50	6	3,167	0.38	☆☆	\$\$	
		全国街路事業促進協議会会費	内部管理	10			10			0			☆☆	\$\$	
		都市計画道路修正事務	内部管理	0			840			0			☆☆☆	\$\$\$	
2 市営駐車場管理事業	C	一般駐車場管理事業	施設維持管理	5,766			1,297			0			☆☆	\$\$	18,342
		定期駐車場管理事業	施設維持管理	12,088	7,870	1.10	15,303	6,732	0.95	17,080	5,617	1.00	☆☆	\$\$	
		市営駐車場管理事業	施設維持管理	1,746			1,720			1,952			☆☆	\$\$	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				19,616	9,790	1.30	20,293	11,442	1.45	19,952	8,784	1.38	19,356		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
都市整備課	都市計画道路の見直し	長期未着手路線について廃止も含めた検討を行い、整備率の底上げを図る。
国・県	道路整備についての連携	国県管理道路の早期整備促進を図り整備率の底上げを図る。
国道2号整備促進期成会	構成3市1町との連携	市を東西に縦貫する骨格路線である国道2号の早期整備促進を図る。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
項目	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	2	都市計画道路の整備率達成は困難、また、駐車場利用率についても難しいと思われる。	2	都市計画道路整備率は、計画路線の見直しを図らなければ困難である。駐車場利用割合についても、目標値の見直しを行わない限り困難。
2 事業構成の適当性	2	駐車場管理事業について行政が行う必要があるか。	3	概ね妥当
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	2	都市計画道路整備率、駐車場利用率とも目標をクリアしていない。	2	同左
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	都市計画道路については、目標達成の観点からも早期の見直しが必要、また駐車場についても指定管理者制度の導入などを検討。			<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路については、同左 駐車場については、利用率の低い定期駐車場の利用率アップ方法を検討。
二次評価者コメント	違法駐車対策、定住化対策に市営駐車場は貢献してきたが、空き家を取り壊され、民間駐車場が増加しているとされる。そのため、市営駐車場利用率に注視し、運営管理方法の検討を行う必要がある。また、都市計画道路については、長期未着手路線の廃止を含めた見直しを早期に行う必要がある。			基本施策への貢献度 3中立